都市調査及び演習 担当: 准教授 宇於﨑勝也 (第1回 都市調査の初歩)

掲示資料

・都市計画図 縮尺は任意

·住宅地図 1/1,500

·地形図(国土基本図) 1/2,500

·大江戸地理空間図 1/20,000

·土地利用現況図 1/30,000

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

レクチャーの内容

- 1 都市デザインのプロセス
- 2 コミュニケーションの方法
- 3 地図のバラエティ
- 4 出題

都市デザインのプロセス

- 課」1 まちを調べる
- Ё 2 まちを分析・評価する
 - 3 まちの将来像を構想する
 - 4 まちの空間をデザインする
 - 5 まちづくりのルールをつくる

このために調べ、分析・評価」する実践と発表の例



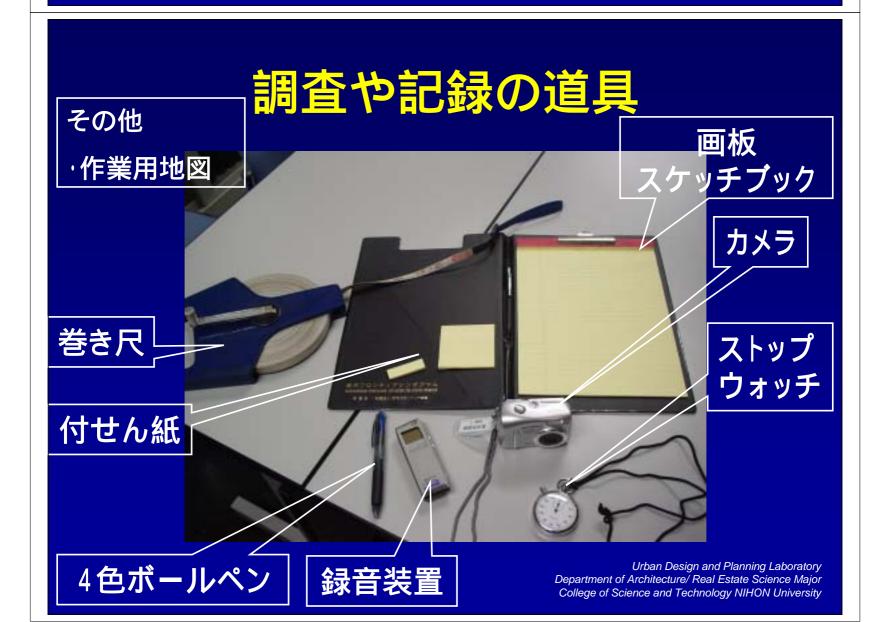
(社)日本建築学会編(2004)「まちづくりデザインのプロセス」丸善より
Department of Architecture/ Real Estate Science Major

1 まちを調べる 5つのアプローチから

- 1)まち歩きの準備をする
- 2)現地で調べる
- 3)歴史を読みとる
- 4)統計資料などを調べる
- 5)規制内容・既存計画を知る

1)まち歩きの準備をする

- ・調査道具の準備
- ・地図から読み取れる状況を把握する
- ・調査の際の役割分担
- ·とりあえず1度現地を見て〈る 必要な調査を検討



心がけ

現地で邪魔にならないようにする < 交通の妨げ、住み・働いている人の不快感 >

現地で感じたことを「自分の言葉」で記録し、「自分で見たことをスケッチ」する <u>疑問に感じたこと</u>や不明なことも記録し、あとで調べる

> Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

地図を利用する

地形図と住宅地図

地図の種類

- 1.一般図:地形、水系、交通路、市街地、集落など地域の状況を把握する上で必要な情報をひと通り網羅的に表示
- 2.主題図:一般図を背景として土地利用や地質など特定の主題を詳細に(あるいは強調して)表示
- 一般図のうち国の測量機関が統一した図式により体系的に整備した地図を「基本図」と呼ぶ

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

地形図

都市の現況を示す <u>地形を示す</u>





地形図

国土地理院が正式に地形図といっているのは1/25,000と 1/50,000地形図のみである

地形図は1801年英国陸地測量部が発行した1/63,300の topographic mapに由来する。

地形図は地形を表した主題図と勘違いされるが、そうではなく"topography"には物理的な地形のほかに、広義に「地域の地形、社会、経済、文化などの特徴」という意味があり、地形図もこの意味が強い。

地域の状態を概略的に知るうえで最も適した地図である

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

地形図の購入方法

東京都内の地図 武揚堂(ぶようどう) 中央区日本橋3-8-16 http://www.buyodo.co.jp/index2.html

その他の地方自治体 原則としてその地方自治体の都市計画課

住宅地図

建物の形とそこに居住する者を示す

高層ビルの場合、別添で各フロアの テナントを示す

以前は建物階数も掲載していたが 近年なくなった Urban Des

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

住宅地図 1/1,500 or 1/2,000





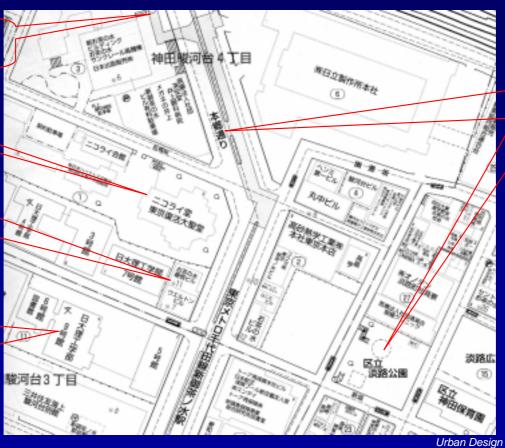
住宅地図 1/1,500 or 1/2,000

地下の出口

建物の形

テナント の情報

高さの 情報なし



通りや 公園の 名称

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

疑問に感じたこと・漠然と見逃さない

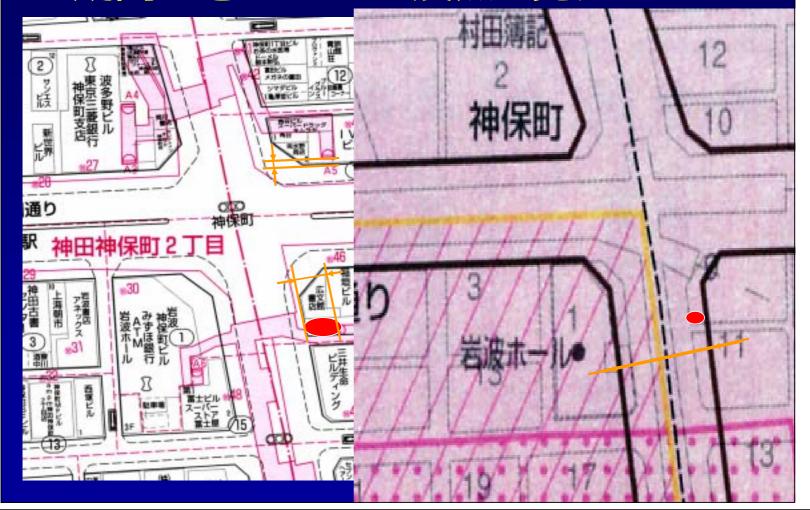






Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

疑問に感じたこと・漠然と見逃さない



自分の言葉で記録

ポール·D·スプライレゲン/波多江健郎訳(1966) 「アーバンデザイン - 町と都市の構成」

都市形態に関する調査においては 視覚的な調査による検討 評価 理解 という過程をふむ。

まず、都市を<u>一般的な用語</u>で大つかみにする とって付けたようなキーワードで語らない

スケッチによる理解

ゴードン・カレン(Gordon Cullen) "Townscape"1961 (SD選書98「都市の景観」)

中世の街並みに隠れた空間、ひそんだ骨格や基盤をスケッチにより引き出す(写真では写り過ぎる)



Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

スケッチによる理解

ゴードン・カレ "Townscape (SD選書98

中世の街並 そんだ骨格な より引き出す (写真では写



2)現地で調べる(着目点や注意点)

- ・フィールド調査 物的側面 建築物や道路の状況 非物的側面 人や車の流れ、何かの活動
- ・ヒアリング・アンケート調査 偏った情報のみを得ないように(サンプルに注意) 相手は聞いたことしか答えない
- ・網羅的に調査し、多角的に把握する
- ·視点(来街者、買物客、居住者、従業者)
- ・いつ(季節、曜日、時間帯によって異なる)

Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University

チェック項目(例)



出典:まちづくリデザインのプロセス P.10

3)歴史を読みとる

・古地図や文献から歴史を探る

現在のまちの性質を理解し、今後のビジョンを検討するにあたり、まちの形成過程やその土地が持っているアイデンティティ(個性)・ポテンシャルを理解することで糸口や資源を発見できる

・歴史の痕跡を現場で見つける 由来板、遺構・遺跡



Department or Architecture/ Rear Estate Science major College of Science and Technology NIHON University

読売新聞2005年4月19日朝刊



歴史の整理(例)



Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

4)統計資料などを調べる

国の調査報告、地方自治体(千代田区)の調査報告



5)規制内容・既存計画を知る

- ·都市総合計画
- ·都市計画
- ・都市計画マスタープラン
- ·上位計画 市区町村 < 都道府県 < 地方(首都圏) < 国土(政府)
- ·任意の計画 グランドデザイン、基本方針、ガイドライン、(要綱)

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

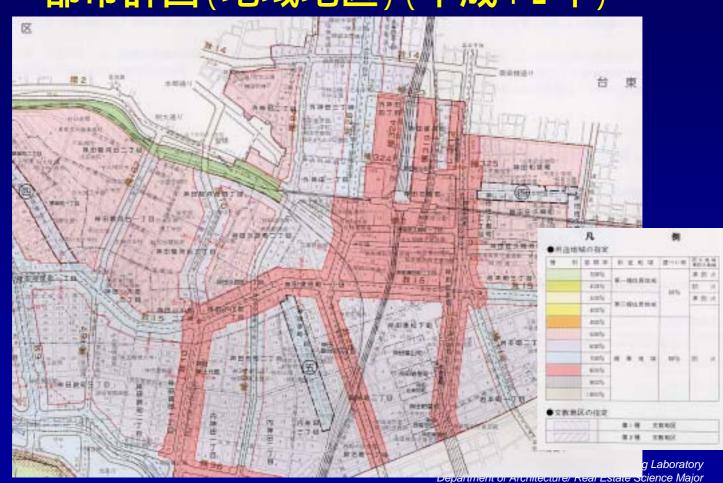
都市計画図





これからの都市施設の配置 都市計画として指定されたもの 用途地域、建ペい率・容積率

都市計画(地域地区)(平成12年)



用途地域

住

都市計画法と 建築基準法の連動

College of Science and Technology NIHON University



第 1 種低層住居専用地域:低 層住宅の地域。小規模な店 事務所の併用住宅、小中 学校などは建築可能



第1種住居地域:住居の環境 をまもる地域。3000 ㎡までの 店舗・事務所・ホテルが建築



: 商業・業務の集ま る地域。住宅、小規模な工場 も建築可能。



第2種低層住居専用地域:低 層住宅の地域。150 mまでの 店舗などは建築可能。



第2種住居地域:主に住居の 環境をまもる地域。店舗・事 務所・ホテル、カラオケボッ クスなどが建築可能



準工業地域:軽工業・サービ ス施設の集まる地域。ほとん どの建物が建築可能。



第 1 種中層住居専用地域:中 高層住宅の地域。病院・大学、 500 ㎡までの店舗が建築可



準住居地域:道路沿道で自動 車関連施設の立地する地域。 住居の環境を保護する地域。





第2種中層住居専用地域:中

高層住宅の地域。病院・大学、

1500 ㎡までの店舗・事務所・

住

I

近隣商業地域:日用品の買い 物をする地域。住宅、店舗、 小規模な工場が建築可能。



: 工場のほか住宅・ 店舗も建築可能。学校・病院・ ホテルは建築できない。

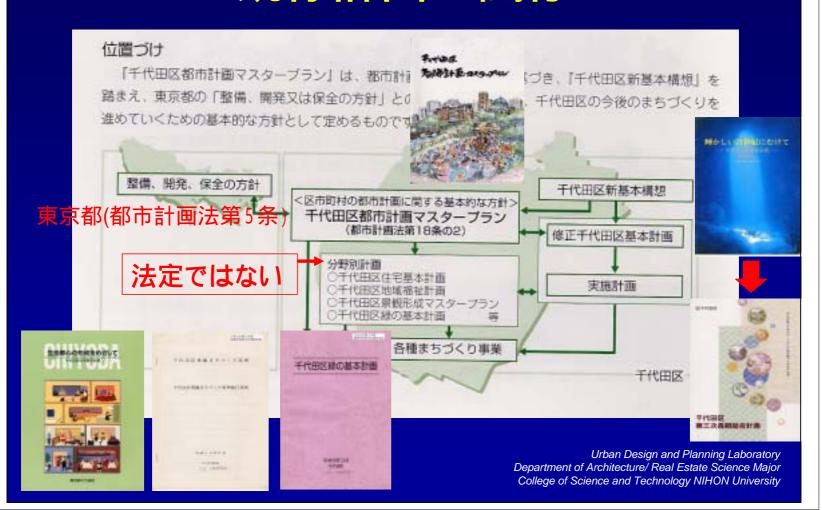


工業専用地域:あらゆる工場 が建築可能。住宅・学校・病 院・ホテルは建築できない

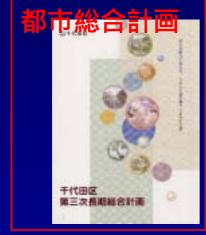
都市計画図(都市施設等)(平成12年)



既存計画の関係



千代田区の総合計画と分野別計画

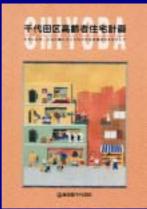
















.aboratorv nce Major

現況把握の結果(例)

O所在地:神田小川町3丁目 〇全敷地面標: 7200ml 〇衛業地域·防火地域 O第2種文数地区 文教地区とは・・・ 文教地区は、学校その他の教育文化施設に係る環境の保護または住宅地の良 好な文教的環境の保護に支障を及ぼす恐れのあ る用途の建築物を制限、あるいは禁止する地区と して都市計画で区域を定める。 第二種文板地区に建築をしたり 用油を変更した りしてはならない建築物 1. 劇場, 映面館, 演奏場, 被製場 2. ホテル、旅館 3. 風俗富業(キャパレー、料理店、ナイトクラブ、 ダンスホール、信室付浴場) 4. 共同住宅と同一階の飲食店 〇速べい事: 100% 〇容積率: 700%, 600%, 500% 、印御茶ノ水駅から徒歩4分 都常新宿線小川町駅・千代田線新御茶ノ水駅から往歩4分 都営新宿館・新建三田線・半蔵門線神保町駅から後歩2分



A m

B m²

C m

700% × + 600% × A + B + C

A + B + C + 500% ×

A + B + C

d Planning Laboratory l Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

2 まちを分析・評価する

- 1)調査結果を整理・加工する
- 2)まちを分析する
- 3)まちの現状を評価する
- 4)まちづくりのテーマをまとめる

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

1)調査結果を整理・加工する

- ·数値データの整理·加工 グラフ化
- ・地図データの整理・加工 情報の種類ごとに地図上に記載
- ·その他の資料の整理·加工 直感的にとらえられるように整理

グラフを理解するために

グラフ	比較	内訳	推移	分布	相関
単位グラフ・面積グラフ					
棒グラフ					
帯グラフ					
円グラフ					
面グラフ					
折れ線グラフ					
レーダーチャート					
三角グラフ					
散布図					

言及した い部分を 強調

: 適している、 最適ではないが場合によっては好ましい、 別の印象を与える可能性があるが目的に応じて使用可能 Urban Design and Planning Laborat

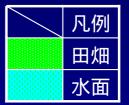
Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University

使いやすい・理解しやすい地図

必須:スケール、オリエンテーション、凡例







説明する目的にあわせた地図

何を語らせたいのか(説明したいモノ・コトは何か)

<u>説明を強調しているか</u>

何を読み取らせたいのか(地図内に網羅)

<u>枠外の話をしてないか</u>

何を言いたいのか(相手の理解を得る道具として)

現況図 (調査の結果)

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

College of Science and Technology NIHON University

土地利用現況図(平成3年)



土地利用現況図の「色」

	土‡	也利用分類	摘 要	色彩	表示方法	
然的土 地利	曲 出		水田	黄緑		
	農地	畑	畑、果樹園			
	平坦地山林 斜度15度未満の山林		緑			
	Щ17	傾斜地山林	斜地山林 斜度15度以上の山林			
	河川、	水面、水路		水色		
用	荒地、	海浜、河川敷		茶		
	住宅周	用地	- H-7 #4	黄		
13	併田4	主宅用地	正 住居系 黄色 登塗りつぶし	橙	涂	
	ונהלוע	±-5/11/6		橙	· 塗 り つ ぶ	
 _	商業周	用地	 商業系 赤色	赤	つ	
都市	工業月	用地	I	青	ıSi	
的	運輸加	施設用地	工業系 青色	灰		
土地利	公共总	用地	上未が 月巴	紫		
	文教	・厚生用地	学校、病院、図書館、寺院	桃		
用	オー	プンスペース	都市公園、広場、運動場、ゴルフ場	うす紫		
	そのイ	也の空地	未建築宅地、用途改変中の土地、屋外利用地	はだ色		
	防衛	用地	自衛隊、米軍提供施設	こげ茶		
	道路周	再地	幅員4m以上の道路、農道、林道、駅前広場	無色		
	鉄道原	 用地		無色		
耕作	F放棄	地		青色	ハッチ	
農振農用地		赤紫		Planning Laborato State Science Ma		
小ゾーン				黒	ふちどり	y NIHON Univers

建物用途現況図の「色」

	事 例	彩色
住宅		黄
集合住宅	共同住宅、寄宿舎、寮	黄緑
店舗併用住宅	店舗併用住宅、事務所併用住宅	黄、赤ふちどり
作業所併用住宅	作業所併用住宅	黄、青ふちどり
併用集合住宅	集合住宅にオフィス、店舗が付設されている。	黄、緑ふちどり
官公庁施設	県庁、市役所、町村役場、裁判所、税務署、警察署、郵便局、 消防署、巡査派出所	こげ茶
教育文化施設	大学、高等専門学校、各種学校、博物館、公会堂、公民館、体育館、小学校、中学校、高等学校、図書館	黄土
厚生医療施設	病院、養老院、託児所、保育所、診療所、公衆浴場	うす桃
業務施設	銀行、事務所、	赤紫
商業施設	百貨店、小売店、卸売店、食堂、喫茶店	赤
宿泊施設	ホテル、旅館、カプセルホテル	桃
娯楽施設	劇場、映画館、演芸場、観覧場、待合、料理店、キャバレー、 舞踏場、特殊浴場、ボーリング場、、スケート場、マージャン 場、パチンコ屋、サウナ、自動車教習場、ゲームセンター	うす紫
運輸倉庫施設	駅舎、停車場、電車車庫、バスターミナル、トラックターミナル、自動車車庫、飛行場、港湾施設、倉庫	灰
重化学工業施設	建築基準法別表に掲げる建築物	黒
軽工業施設	建築基準法別表に掲げる建築物	青
サービス工業施設	建築基準法別表に掲げる建築物	紫
家内工業施設	原動機を使用しない工場	水色
処理施設	廃棄物処理場、汚水処理場、火葬場、屠場、発電所、変電所、 変圧所、浄水場	深緑
農業施設	畜舎、温室、漁業施設	茶
防衛施設	自衛隊、米軍提供施設	こげ茶ふちどり

nd Planning Laboratory I Estate Science Major logy NIHON University

建物構造・階数現況図の「色」

主要構造部 の構造	階数	色彩	表示方法		
	1 階	黄			
木造	2 階	橙			
	3階以上	赤			
	1~2階	水色	塗りつぶし		
RC造	3 階	青	坐り ついし		
SRC造	4~5階	緑			
鉄骨造 等	6~9階	深緑			
	10階以上	茶			
滅失家屋		黒	(地形図には存在しているが、 2年には存在しないもの)		
小ゾーン		黒	ふちどり		
防火地域		赤	1点破線ふちどり		
準防火地域		赤	ふちどり内側ぼかし		
高度利用地区		紫	1点破線		
調査除外区域		こげ茶	ふちどり内側ぼかし		
市街化区域		紫	ふちどり		
都市計画区域		紫	1点破線ふちどり		

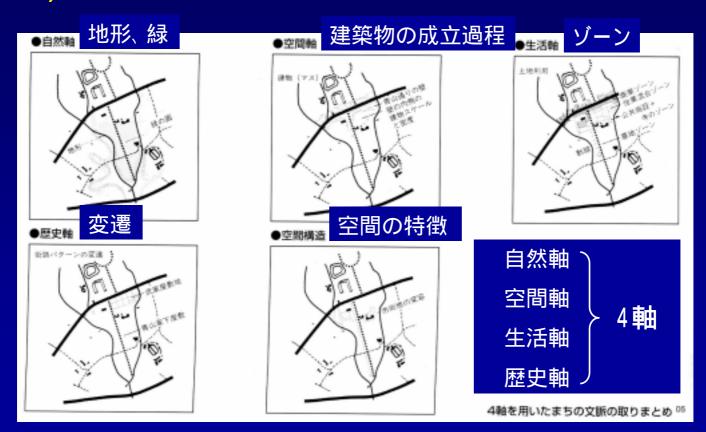
an Design and Planning Laboratory itecture/ Real Estate Science Major

College of Science and Technology NIHON University

建物利用用途の調査結果



2)まちを分析する(視点=軸による)



出典: まちづくリデザインのプロセス P.24
Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
東京都公共施設のデザインにあたってCollege of Science and Technology NIHON University

3)まちの現状を評価する

- ·可能性·資源を発掘する 「まちのイイとこ探し」 暮らしている人にとっては<u>あたり前で気づかない</u> ことも多い。第三者の視点で読み取る。
- ・課題を整理する 目に見えるモノ、見えないコト 短期的課題、中・長期的課題
- · 図示する 発見マップの作成(問題点マップも一例)

調査から得られる「地図」とは

調査分析問題点、課題の発見

現況図 分析図 課題図

・現況図:見たままを表現する

・分析図:発見したい「何か」を重点に描く

・課題図:主にプロジェクトにより解決したい (できる可能性のある)ことを記入

Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University



現地調査による まちの発見マップ

第三者は良いところよりも「問題点」を探すほうが課題が浮き彫りに、

住民は「イイとこ探し」 をするほうが方向性を 見出しやすい

調査地図による記録と表現 スプライレゲン「アーバンデザイン」

- 1.地形図
- 2.局部的地域の気象 太陽、風、暴風の方向
- 3 形
- 4.パターン、肌理、肌合い
- 5.路線
- 6.地区
- 7.ランドマークと結節点
- 8.オープンスペース
- 9.眺め
- 10.磁石(繁華街)、発電機(人びと)、電線(結びつける鎖)
- 11.特殊な活動のセンターと全体的な活動の構造
- 12.視覚的に強く訴える中枢
- 13.方向性の強い区域と弱い区域
- 14.区域内の標識
- 15.食い違った場所
- 16.歴史的、あるいは特殊な地区
- 17.コミュニティの構造
- 18.保存区域、ほどよく改装しうる区域、完全につくりなおすべき区域
- 19.デザイン要素を明確にすべき場所
- 20.都市の特徴、形態が公衆の目ではっきりわかる"街頭の人"によってつくられたイメージ図

20枚の地図を作って相互に重ね合わせたり、見比べたりすることで明らかになる特徴もある

Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University

4)まちづくりのテーマをまとめる

効率のよい、楽しいディスカッション 情報の共有、意見交換を行う

ワークショップにおける KJ法(川喜多二郎)、建替シミュレーション ゲーム、ロールプレイ(役割体験)ゲーム など

3 まちの将来像を構想する

- 1)人口と土地利用の将来フレーム を設定する
- 2)マスタープランをつくる
- 3)まちの将来像を空間概念図にまとめる

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

1)人口と土地利用の 将来フレームを設定する

まちの将来像を想定する <u>将来人口と土地利用</u>の設定

- ·現況をとらえて住居系·商業系·工業系の 分布、道路や公共施設の配置などを検討
- ·再開発計画などを設定する場合は土地利 用フレームに反映する

土地利用方針図の策定

2)マスタープランをつくる

将来ビジョンとマスタープランを合致

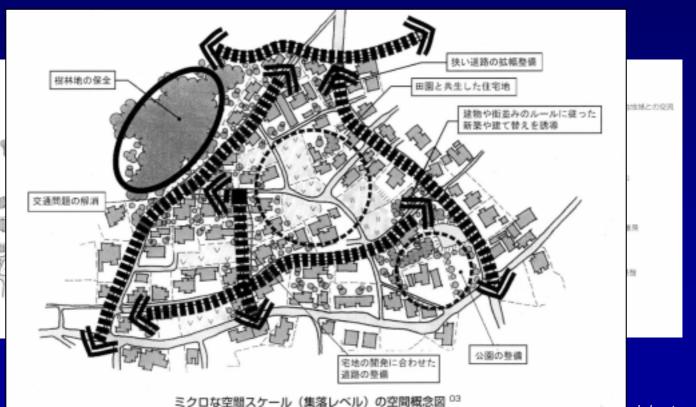
- ・市民の意見を反映
- ・地域の実情に即す
- ・物的・非物的な計画を網羅的に取り込む
- ・諸施策を総合的・計画的に進める指針

どのような人、モノを対象とするのか 「居住者、来街者、事業者、従業者・・・ 商品、製品、所有・保有、貸借・・・

Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University

3)まちの将来像を 空間概念図にまとめる

ミク



出典:まちづくリデザインのプロセス P.39

Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

4 まちの空間をデザインする

- 1)機能の配置と交通動線を計画する
- 2)地区の構造やパタンを計画する
- 3)街区の形態と空間像をデザインする
- 4)まちなみ景観をデザインする
- 5)にぎわう空間をつくり出す
- 6)公園をデザインする

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

- 4)まちなみ景観をデザインする
- 5)にぎわう空間をつくり出す
- 6)公園をデザインする

安全·安心

個別の地域特性・ポテンシャルを活かす アイデンティティ(個性) 賑やかさ

な空間を心がける

5 まちづくりのルールをつくる

- 1)まちづくりを担う組織と仕組みをつくる
- 2)計画からルールへ展開する
- 3)デザインガイドラインをつくる
- 4)まちづくりの協定をつくる
- 5)地区計画をつくる

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

1)まちづくりを担う組織と仕組みをつくる

まちづくりは

単発の活動ではない 多〈の人を巻き込んだ 期間の長〈かかる

活動である

まちづくりを支える 「人」や「組織」づくりが必要(体制づくり)

住民(町内会、自治会、市民組織、NPO)と行政が協働する

コミュニケーションの手法

- 1)図面で表現する/口頭で発表する
- 2)模型のシミュレーションを活用する
- 3) V R <u>シミュ</u>レーションを活用する
- 4)WEBを活用する

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

0)コミュニケーションの目的と方法

共感 納得 確信 を実現する作業

- ・共働作業の前提として、ボキャブラリを共有し、参加者の基本的な「共感」を得る
- = データは限定せずに網羅的に示す
- ・共通の目標やイメージをともに探り、状況を知的に理解して「納得」する
- = データは提示方法が修正できるように示す
- ・最終プレゼンテーションを同時に確認し、互いに「確信」し 意思決定する
- = データは一貫性をもって示す

1)口頭で発表する

プレゼンテーションの役割と意味

- 1. 自分のアイディア、討議内容、合意事項を 正確に多数の人に伝達し、経験や情報を 共有する
- 2.他人に自分の考えをメッセージとして伝えるために事前に自己の考えを整理し、論理的に組み立てる訓練

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

コミュニケーションの手法

- 2)模型のシミュレーションを活用する
- 3) V R シミュレーションを活用する
- 4)WEBを活用する

コミュニケーションをとるための道具に何を選ぶか

2次元のスケッチ・パース

3次元の模型(スケールや作りこみ)

CG(コンピュータ・グラフィック)

VR(ヴァーチャル・リアリティ)

参加の広さ、深さ、時間を工夫できるWEBシステム

地図のバラエティ

道具としての地図 面白い表現

> Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

使いやすい・理解しやすい地図

必須:スケール、オリエンテーション、凡例

説明する目的にあわせた地図
何を語らせたいのか(適切なスケールや表示)
<u>説明を強調しているか</u>
何を読み取らせたいのか(理解してもらいたいこと)
<u>枠外の話をしてないか</u>
何を言いたいのか(言いたいことを明確に)

わかりにくい地図 = Webの案内図



著作権の問題

理由

- 1)画像が荒い
- 2)不要な色が多い
- 3)余計な情報が多い
- 4)加工しにくい

自分の言いたいことが"ズバリ"言えない

Urban Design and Planning Laboratory
Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University

ちょっと横道にそれるが、 絵と文章の補完性

- ・図や絵を使うメリット
 - = 伝達できる情報量が圧倒的に多い。
 - = 文章より同じ時間でより多くのものを伝 えられる
- ・事実を説明するには、文章として表した
 - 一般性は頼りになる
 - + 絵の持つ具体性を加える 補完

出典:畑村洋太郎(2005)「畑村式「わかる」技術」、講談神現代新書eal Estate Science Major College of Science and Technology NIHON Un<u>iversit</u>y

さらに、アウトプットのすすめ

・理解を深めるにはアウトプットしてみること わかっているつもりになっているだけで、 実際には理解できていないことが外に出 すことで判る

どの部分がどのように理解でいていない かを整理できる

人に質問を受けたリアドバイスを得られた りすることでより深く考えがおよぶ

出典:畑村洋太郎(2005)「畑村式「わかる」技術」、講談神現代新書eal Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

地図をもとにした、いろいろな表現

- ・3次元的スケッチ
- <u>・地図+スケ</u>ッチ
- ·地図+写真
- ·航空写真(衛星写真?)
- ・3次元解析
- ・ダイアグラムの抽出
- ・ネガティブマップ
- ·古地図 変遷

3次元的表現



出典: TOKYO Disney RESORT INFORMATION & MAP

ı Laboratory ∪epartment or Arcnitecture/ Rear Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

3次元的表現(マクロスケール)



出典:ジオ・アート 東京鳥瞰全図(北海道地図作)

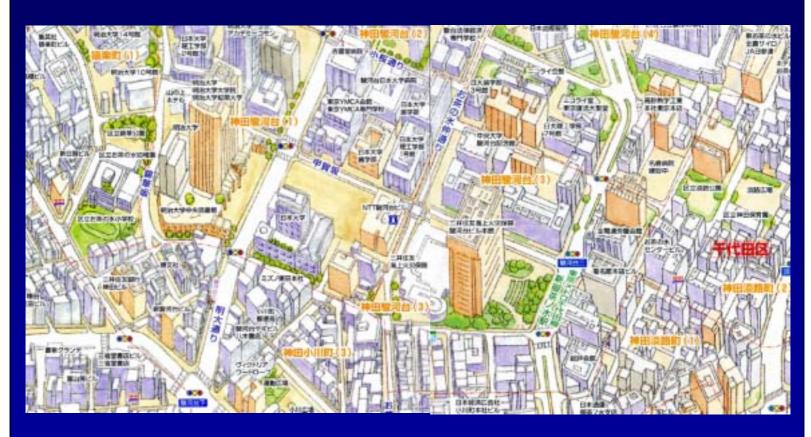
3次元的表現(中間=地域レベル)



出典:ジオラマ東京(黒澤達矢作画)

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

3次元的表現(ミクロスケール)



出典:東京手描き立体イラストマップ(GA企画)

わかりやすい施設配置の表現



Urban Design and Planning Laboratory
出典:旅に出た〈なる地図、帝国書院(2004) Department of Architecture/ Real Estate Science Major
College of Science and Technology NIHON University

世界遺産地図

写真と解説を添えた表現



Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

山ノ手散歩 坂のある風景 スケッチと解説を添えた表現



出典:久芳勝也作画

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

駿河台校舎周辺航空写真(2000.3現在)



御茶ノ水周辺の様子



Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

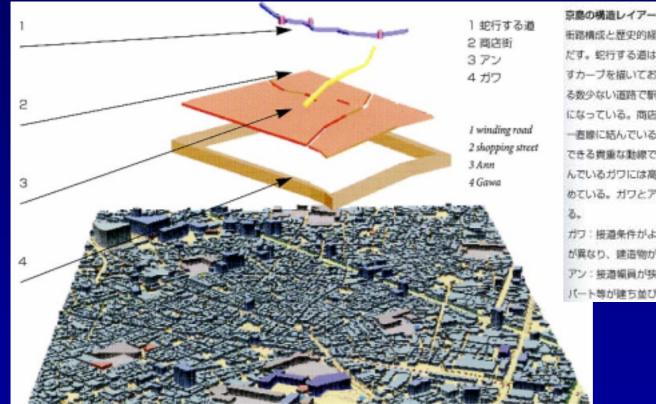
六本木階層別建築物の様相

(低層 - 赤、高層 - 灰)



出典:東京再生、学芸出版社(2003)

京橋の都市構造ダイアグラム



出典:東京再生、学芸出版社(2003)

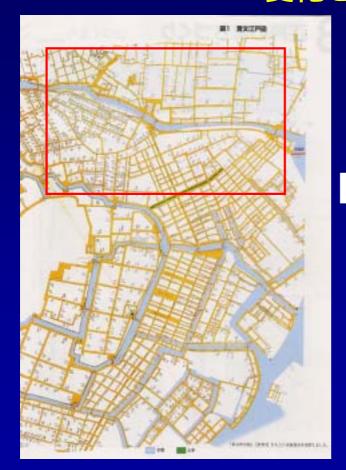
街路構成と歴史的経緯から京島の構造を導き だす。蛇行する道は昔水路であった名残を残 すカーブを描いており、現在位置を確認でき る数少ない道路で駅からのメインアプローチ になっている。商店街は明治通りと宝通りを 一直線に結んでいるため、同様に位置確認が できる貴重な動線である。この区域を取り囲 んでいるガワには高層建築物が次々に建ち始 めている。ガワとアンは以下のように定義す る。

ガワ:接道条件がよく、街区内側と用途地域 が異なり、建造物が高く建てられるエリア。 アン:接道幅員が狭小で、木造低層住宅・ア パート等が建ち並び、密集度が高いエリア。



寬文江戸図 震災復興

変化をとらえる表現





江戸の町割りの消失

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

改めて「地図」とは

「ち」:土地を表す

「ず」: 点や線などで表したもの

一般に「地図」は、「地球上の事象を一定の規則のもとで、縮尺化して平面上に表現したもの」と定義され、広義には「高さの情報を含まないもの」や「極端にデフォルメされたもの」を含む

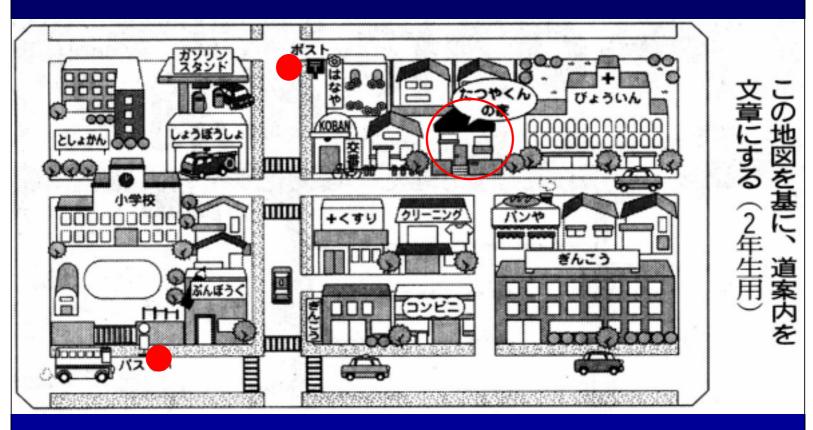
日能研「読解力」試験 2005.6.12

小学校2年生向け出題 あなたが、たつやくんだったら、けんじくん に電話でどのように道を教えてあげますか。

いとこのけんじが、たつやの家に遊びに来る際、たつやはバス停から自宅までの道順を手紙でけんじに伝えたが、けんじがポストの前で迷ってしまう。 地図を見ながら道順を文章で表現する問題だ。

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

日能研「読解力」試験 2005.6.12



日能研「読解力」試験 2005.6.12

解答例 交番の角を左折する最短コース 病院の前を通るコース 一度、バス停まで戻らせた上で、もう1回自宅への 道順を説明

この問題はこう続く あなたのともだちが家に遊びに来るとしたら、道を 間違えないためにどのような工夫をしますか。

相手も理解しやすい説明とは?

Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

地図の選択・利用においての留意事項

調査時

現地で作業のしやすい大きさやスケール

現況を調査・整理する

都市計画(既存の計画や規制)を調べて地図にプロット、マッピング

統計資料を調べて地図にプロット、マッピング

分析時

写真やスケッチによりリアリティを持たせた説明

問題点マップ

構成要素(例えばPath)の強調

ネガティブマップなど分析ツールとして用いる

表現として

写真やスケッチによる説明

3次元的に表現

色分けをして表現(色使いも配慮)

模式的に表現

「いいたいこと」を強調

自分が理解し、 他人にも理解を 促す

やりたいことを 明確に示す

演習 -問題点マップの作成

配布した地図の地域を現地調査し、問題点マップを作成せよ。 4種類のうち1枚

建築的なこと、交通、路上の障害物、生物、 文献調査やWeb調査によって明らかになった ことなどを地図上に写真、文字、記号などを 用いて表現する。

配布した地図は上が北、1/2,500で神田 町周辺である

> Urban Design and Planning Laboratory Department of Architecture/ Real Estate Science Major College of Science and Technology NIHON University

> > おわり